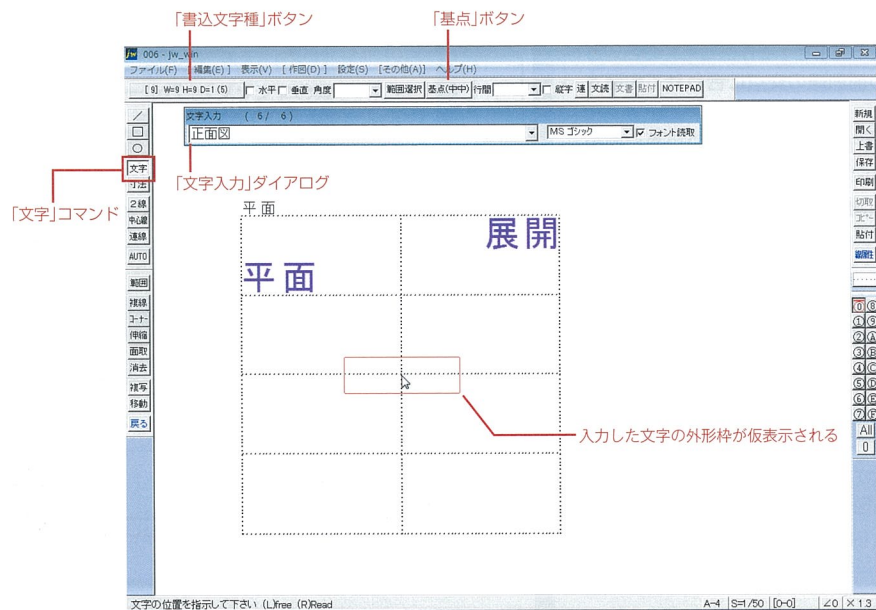


1・6

文字の記入

用紙サイズをA4、縮尺を1/50に設定し、文字の記入練習をします。文字は「文字」コマンドを選択し、記入する文字を入力した後に、その記入位置をクリックして記入します。ここでは文字記入の手順や記入されている文字の移動、複写、消去の方法について学習します。

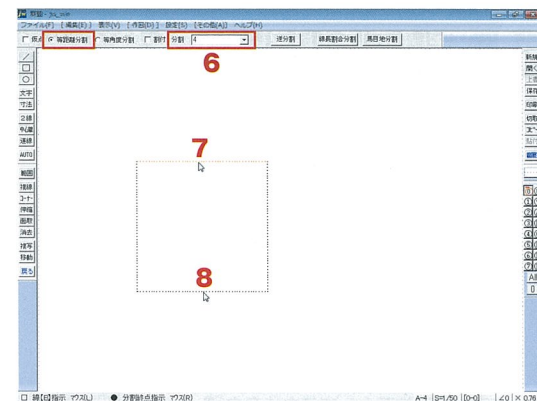


● 罫線枠の上辺と下辺の間を4段に等分する線を作図しましょう。「分割」コマンドで2本の線と分割数を指定して作図します。

- 5 メニューバー「編集」-「分割」を選択する。
- 6 コントロールバー「等距離分割」が選択されていることを確認し、「分割」ボックスに「4」を入力する。

POINT 「分割」コマンドは、2つの線・円・点間を指定数で分割する線・円または点を作図します。線を閉することで分割線を作図します。

- 7 線(A)として上辺を閉。
- 8 線(B)として下辺を閉。

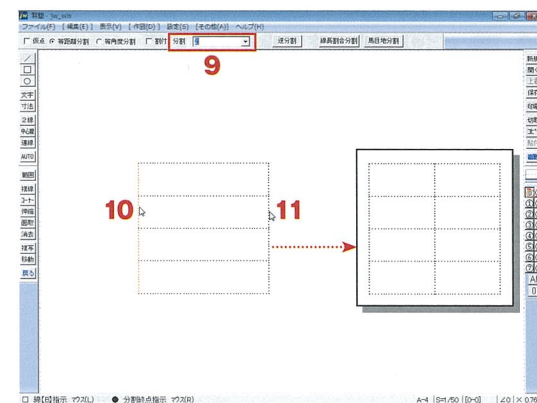


⇒ 右図のように7-8間を4分割する線が書込線の「緑色2・補助線種」で作図される。

● 同様に、罫線枠の左辺と右辺の間を2列に等分する線を作図しましょう。

- 9 コントロールバー「分割」ボックスに「2」を入力する。
- 10 線(A)として左辺を閉。
- 11 線(B)として右辺を閉。

⇒ 結果の図のように10-11間を2分割する補助線が作図される。



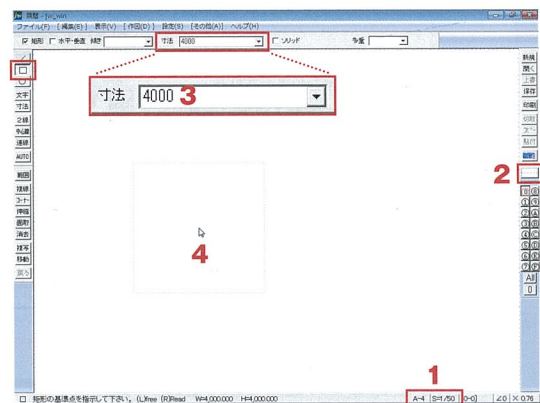
1 練習用の罫線を作図する

● S = 1/50のA4用紙に、文字の記入練習を行うための罫線枠として4,000mm角の矩形を補助線で作図しましょう。

- 1 用紙サイズA4、縮尺1/50に設定する。
- 2 書込線を「緑色2・補助線種」にする。
- 3 「□」コマンドを選択し、コントロールバー「寸法」ボックスに「4000」を入力する。

POINT 数値入力ボックスに入力する2数が同じ場合、「4000」と、1数を入力することで「4000,4000」になります。

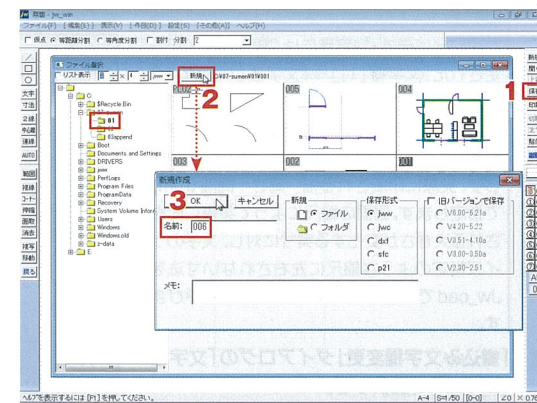
- 4 右図の位置に作図する。



2 図面を保存する

● 作図した図を名前「006」として「01」フォルダに保存しましょう。

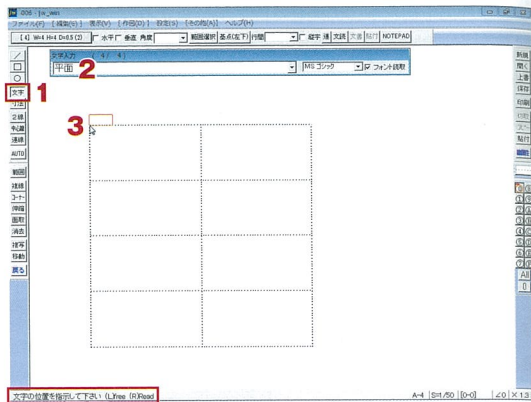
- 1 「保存」コマンドを選択する。
- 2 表示される「ファイル選択」ダイアログで、保存先としてCドライブの「07-zumen」フォルダ内の「01」フォルダが開いていることを確認し、「新規」ボタンを閉。
- 3 表示される「新規作成」ダイアログの「名前」ボックスに「006」を入力し、「OK」ボタンを閉。



3 文字「平面」を1段目に記入する

●文字「平面」を罫線枠1段目に記入しましょう。文字の記入は「文字」コマンドを選択し、記入する文字を入力した後、記入位置を指示します。

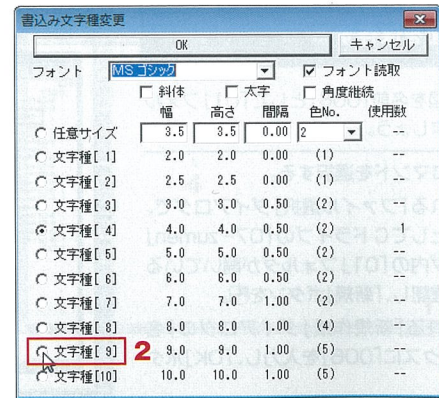
- 「文字」コマンドを選択する。
⇒「文字入力」ダイアログが表示される。日本語入力
が自動的に有効になり、「文字入力」ボックスでは
入力ポインタが点滅する。
- 「文字入力」ボックスに「平面」を入力する。
⇒文字外形枠がマウスポインタに仮表示され、操作メッ
セージは「文字の位置を指示して下さい」になる。
- 文字の記入位置として枠左上角を \ominus 。
⇒ \ominus 位置に「平面」が記入される。



4 文字のサイズを変えて記入する

●前項で記入した文字よりも大きいサイズで「平面」を2段目に記入しましょう。文字は記入時の書込文字種の大きさと記入されます。書込文字種を今より大きいものに変更しましょう。

- コントロールバー「書込文字種」ボタンを \ominus 。
⇒「書込み文字種変更」ダイアログが表示される。



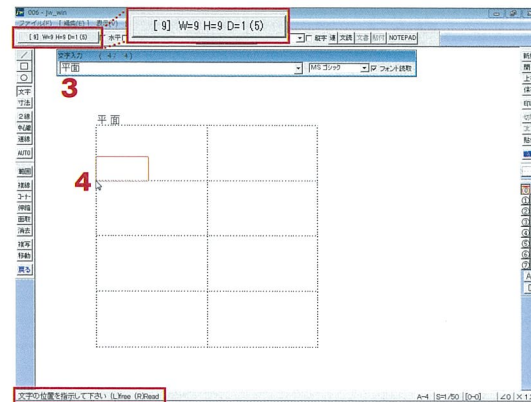
- 「書込み文字種変更」ダイアログの「文字種 [9]」を \ominus で選択する。

⇒「書込み文字種変更」ダイアログが閉じ、コントロールバー「書込文字種」ボタンの表記が現在の書込文字種「[9]W=9 H=9 D=1(5)」に変わる。

- 罫線枠2段目に「平面」を記入しましょう。

- 「文字入力」ボックスに「平面」を入力する。
- 文字の記入位置として2段目の罫線左端点を \ominus 。

⇒ \ominus 位置に文字の左下を合わせ、文字種9で「平面」が記入される。文字種9の色No.は「5」に設定されているため、記入された文字は緑色5で表示される。



5 文字基点を右上に変更して「展開」を記入する

●ここまでの文字は \ominus した位置に文字の左下を合わせて記入されました。これは文字の基点(基準の点)が左下に設定されていたためです。基点を右上に設定し、罫線枠の右上角に文字の右上を合わせて「展開」を記入しましょう。

- コントロールバー「基点(左下)」ボタンを \ominus 。
⇒「文字基点設定」ダイアログが表示される。

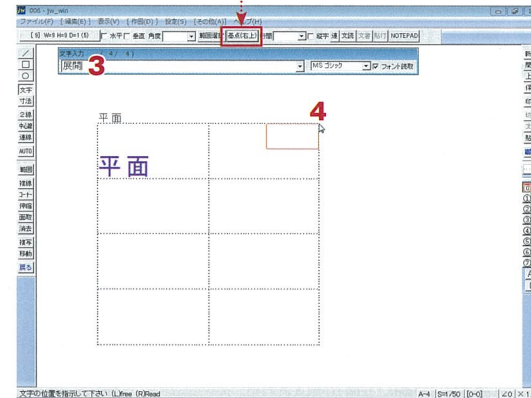
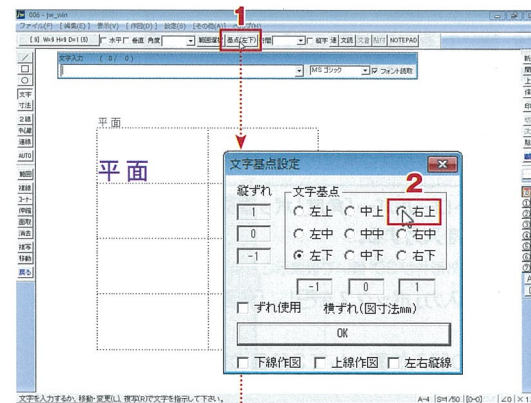
POINT 文字の基点として下図の9カ所を指定できます。



- 「文字基点設定」ダイアログの文字基点「右上」を \ominus で選択する。

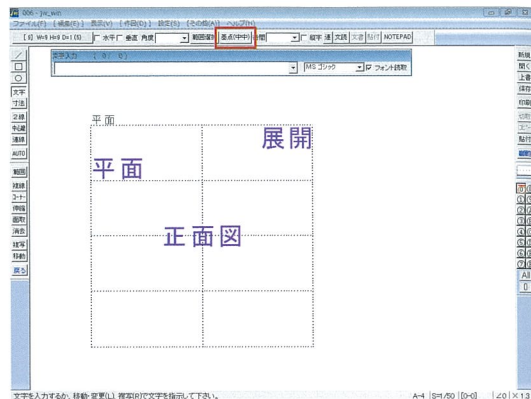
⇒「文字基点設定」ダイアログが閉じ、コントロールバーの「基点(左下)」ボタンが「基点(右上)」に変わる。マウスポインタに右上を合わせ文字外形枠が仮表示される。

- 「文字入力」ボックスに「展開」を入力する。
- 文字の記入位置として罫線枠右上角を \ominus 。
⇒ \ominus 位置に文字の右上を合わせ「展開」が記入される。



○ やってみよう

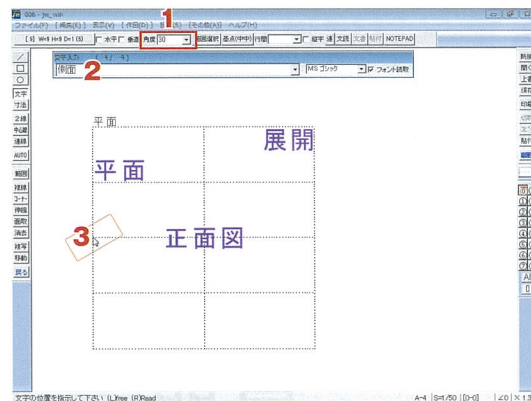
罫線枠の中心の交点に文字中心を合わせ、「正面図」を記入しましょう。文字の基点を「中中」に設定して記入します。



6 角度 30° で「側面」を記入する

● 30° 傾けて「側面」を記入しましょう。傾いた文字を記入するには、その傾きをコントロールバー「角度」ボックスに指定します。

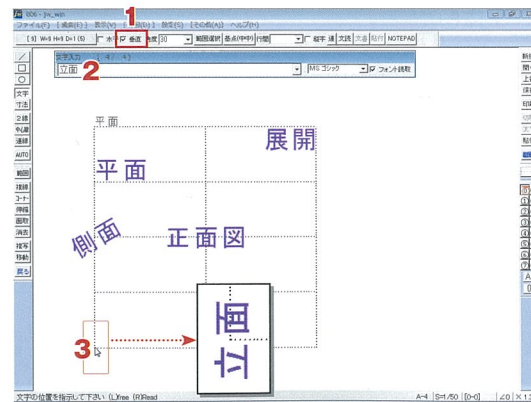
- 1 コントロールバー「角度」ボックスを閉じ、「30」を入力する。
⇒ 文字外形枠が 30° 傾いて仮表示される。
- 2 「文字入力」ボックスを閉じ、「側面」を入力する。
- 3 文字の記入位置として 3 段目の罫線左端点を閉じ。
⇒ 閉じ位置に 30° の角度で「側面」が記入される。



7 垂直に「立面」を記入する

● コントロールバー「垂直」にチェックを付けることで文字の角度が垂直に固定されます。

- 1 コントロールバー「垂直」にチェックを付ける。
POINT コントロールバーの「水平」「垂直」のチェックは「角度」ボックスの角度よりも優先されます。
- 2 「文字入力」ボックスに「立面」を入力する。
- 3 文字の記入位置として罫線枠左下角を閉じ。
⇒ 閉じ位置に垂直に「立面」が記入される。



8 文字を移動する

● ステータスバーには「移動・変更(L) 複写(R)」と操作メッセージが表示されています。「文字」コマンドでは、「文字入力」ボックスに文字を入力せずに既存の文字を閉じると移動・変更になり、閉じると複写になります。「展開」を罫線枠右下角に文字の右下が合うよう移動しましょう。

- 1 「文字」コマンドで、移動する文字「展開」を閉じ。

⇒ 現在の基点(中中)をマウスポインタに合わせて文字外形枠が仮表示される。「文字入力」ダイアログのタイトルは「文字変更・移動」になり、入力ボックスには「展開」が色反転して表示される。

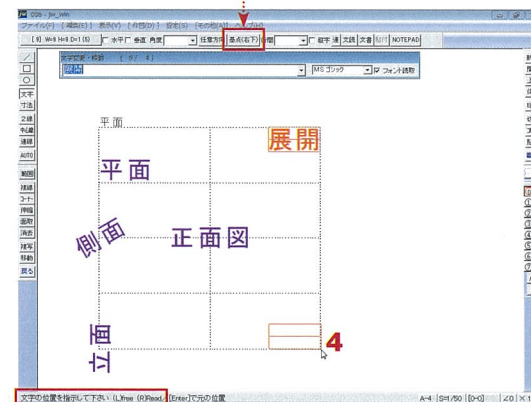
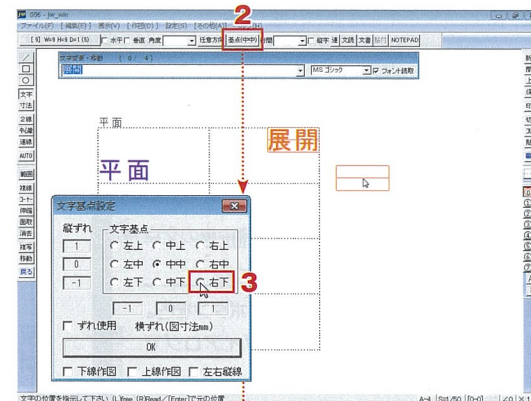
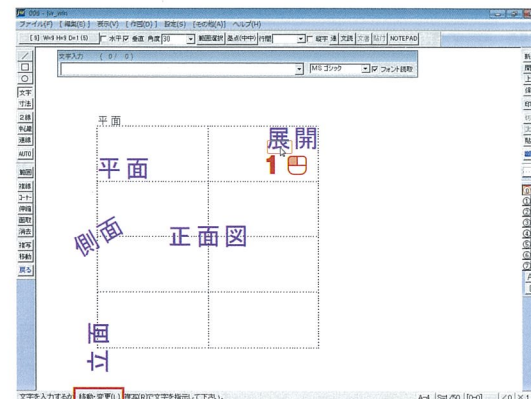
POINT 移動先をクリックすることで、現在の文字基点がクリック位置に合うように移動されます。また、「文字変更・移動」ボックスの文字を変更することで文字が変更されます。

- 罫線枠右下角に文字の右下が合うように移動するため、文字の基点を右下に変更しましょう。

- 2 コントロールバー「基点(中中)」ボタンを閉じ。
- 3 表示される「文字基点設定」ダイアログの文字基点「右下」を閉じで選択する。

⇒ ダイアログが閉じ、基点(右下)をマウスポインタに合わせて文字外形枠が表示される。

- 4 移動先として罫線枠右下角を閉じ。
⇒ 閉じ位置に基点(右下)を合わせ、「展開」が移動される。



9 「正面図」を「正面」に変更する

●記入されている文字の内容を変更する場合も、移動と同様に変更対象の文字を囲みます。「正面図」を「正面」に変更しましょう。

1 「文字」コマンドで、変更する文字「正面図」を囲みます。

⇒「文字入力」ダイアログのタイトルが「文字変更・移動」になり、文字入力ボックスには「正面図」が色反転して表示される。またマウスポインタには現在の基点(右下)で文字外形枠が表示される。

2 「文字変更・移動」ボックスの「正面図」の末尾を囲み、入力ポイントを移動する。

3 [Backspace]キーを押し、「図」を消す。
⇒「文字変更・移動」ボックスが「正面」になり、現在の基点(右下)を基準にした2文字分の文字外形枠が、変更対象の文字とマウスポインタの位置の2カ所に、右図のように仮表示される。

●文字の記入内容は、現在の文字基点を基準に変更されます。

変更後の文字「正面」の中心が罫線枠中央の交点に合うよう、文字の基点を変更しましょう。

4 コントロールバー「基点(右下)」ボタンを囲みます。

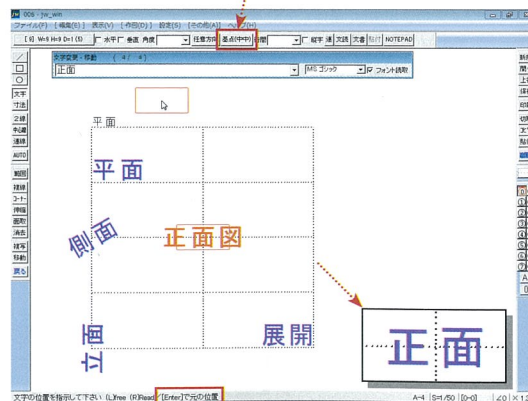
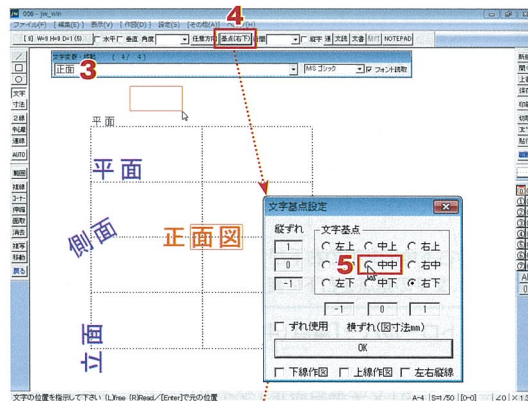
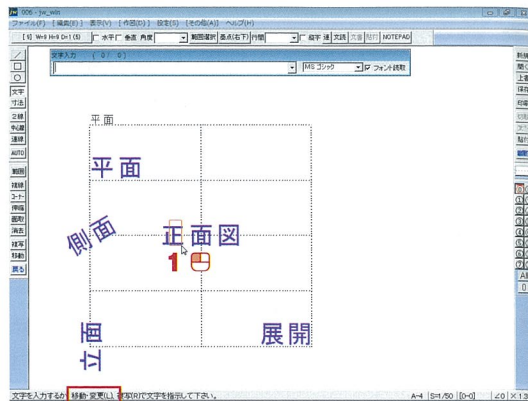
5 表示される「文字基点設定」ダイアログで「中中」を囲みます。

⇒ダイアログが閉じ、文字の基点が(中中)に変更される。操作メッセージは「文字の位置を指示して下さい(L) free (R) Read/[Enter]で元の位置」と表示される。

POINT この段階で[Enter]キーを押すことで文字の変更が確定します。また、図面上の別の位置をクリックすることで文字内容の変更と移動が同時に行えます。

6 [Enter]キーを押し、文字変更を確定する。

⇒文字「正面図」が現在の基点(中中)を基準に「正面」に変更される。



10 文字を複製する

●文字の複製は、「文字」コマンドで複製対象の文字を囲むことで行います。「正面」を1段下の交点に複製しましょう。

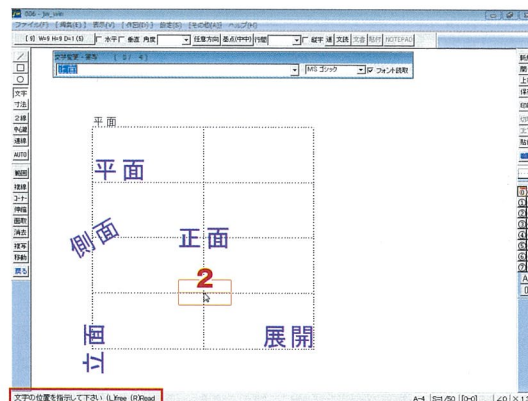
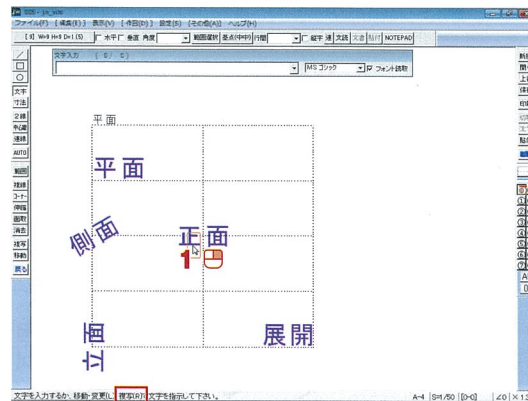
1 「文字」コマンドで、複製する文字「正面」を囲みます。

⇒現在の基点(中中)をマウスポインタに合わせ文字外形枠が仮表示される。「文字入力」ダイアログのタイトルは「文字変更・複製」になり、入力ボックスには「正面」が色反転して表示される。操作メッセージは「文字の位置を指示して下さい」と表示される。

POINT 「文字変更・複製」ボックスの文字を変更したうえで複製先の位置をクリックすることで、文字内容の変更と複製が同時に行えます。

2 複製先として1段下の交点を囲みます。

⇒囲み位置に現在の基点(中中)を合わせ、「正面」が複製される。

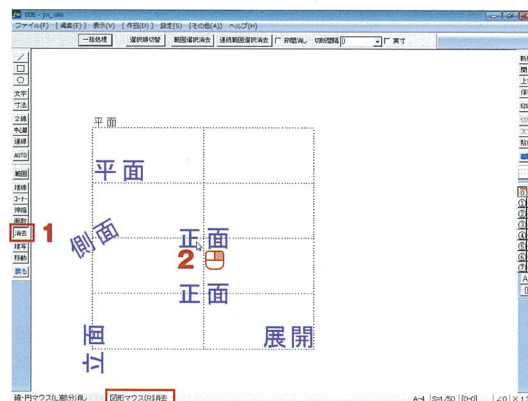


11 文字を消去する

●罫線枠中央に記入されている「正面」を消しましょう。文字も線・円・円弧と同様に、「消去」コマンドで囲むことで消します。

1 「消去」コマンドを選択する。

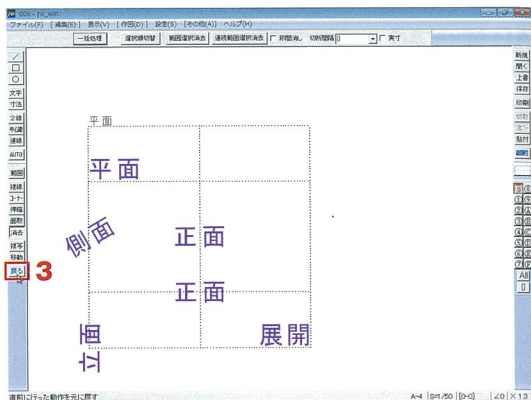
2 消去対象の文字「正面」を囲みます。



⇒右図のように補助線が消去され、消去対象として \square した文字「正面」が残る(文字が消去される場合もある)。

POINT 「消去」コマンドでは文字も線も \square で指示するため、消去する文字付近に線がある場合、 \square で文字ではなく線が消去されることがあります。このような場合には、文字を優先的に消去するモードにしたうえで、文字を \square します。

- 3 「戻る」コマンドを選択し、消去された補助線を消去前に戻す。

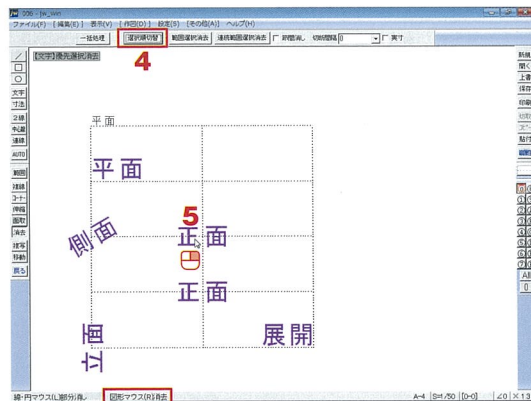


●文字を優先的に消去するモードに設定し、文字「正面」を消しましょう。

- 4 コントロールバー「選択順切替」ボタンを \square 。

⇒画面左上に「[文字]優先選択消去」と表示され、文字が優先的に消去されるモードになる。

- 5 消去対象の文字「正面」を \square 。

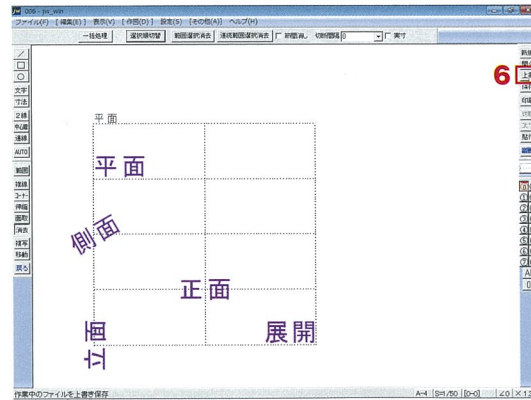


⇒ \square した文字「正面」が消去される。

POINT 文字を優先的に消去する「[文字]優先選択消去」のままでも、線や円・円弧を \square で消去できます。付近の文字よりも線を優先的に消去する場合は、再度コントロールバー「選択順切替」ボタンを \square し、「線等優先選択消去」に切り替えます。

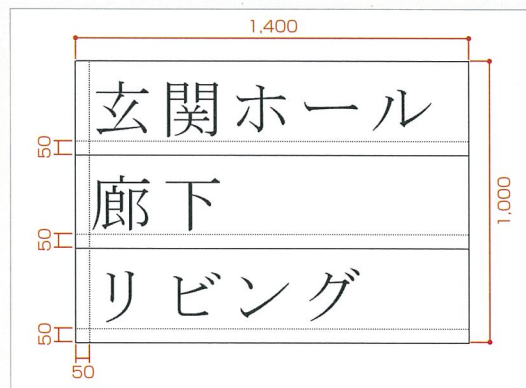
●図面「006」を上書き保存しましょう。

- 6 「上書」コマンドを選択する。



自主作図課題<4>

文字の記入練習をした図面「006」の余白に右図の表を作図し(縦を3等分して3段にする)、上書き保存しましょう。枠表の罫線は線色2・実線で、文字記入位置の指示のための補助線は線色2・補助線種で、それぞれ作図してください。文字は、フォントを「MS明朝」とし、高さ4.5mm、幅4.5mm、間隔0.5mm、色No.2で記入してください。

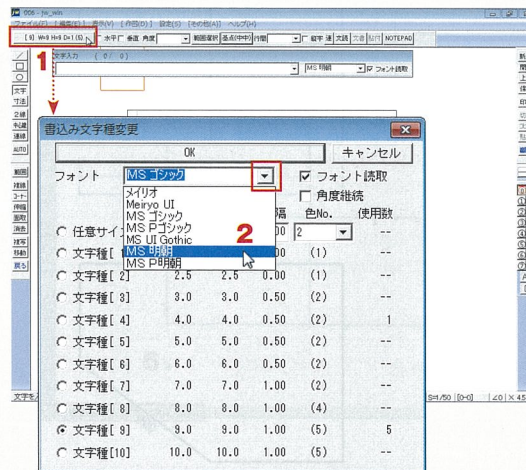


HINT ▶文字のフォント指定と文字種1~10にない大きさの指定

●文字のフォントは文字種ごとではなく記入する文字ごとに指定できます。フォントの指定は「書込み文字種変更」ダイアログの「フォント」ボックスで行います。

- 1 「文字」コマンドのコントロールバー「書込文字種」ボタンを \square し、「書込み文字種変更」ダイアログを表示する。
- 2 「フォント」ボックスの \downarrow を \square し、表示されるリストから「MS明朝」を \square で選択する。

POINT 「書込み文字種変更」ダイアログでは、「フォント」のほか「斜体」「太字」の指定もできます。



●文字種「1」～「10」にない大きさ(ここでは4.5mm角)の文字は書込文字種を任意サイズにして大きさを指定します。

- 3 「任意サイズ」を \square で選択する。
- 4 「任意サイズ」の「幅」「高さ」「間隔」ボックスにそれぞれ「4.5」「4.5」「0.5」を入力し、「色No.」を「2」にする。

POINT 「任意サイズ」は、幅、高さ、間隔、色No.をその都度指定できます。「色No.」は線色番号と同じ画面表示色です。

- 5 「OK」ボタンを \square し、確定する。

